

経済学部経済学科カリキュラムマップ（2022年度入学者用）

DP	1年次	2年次	3年次	4年次	
a 言語運用能力	基礎的知識の修得 外国語（Communicative English I～IV, 初修外国語） 情報リテラシー 大学入門ゼミ	コミュニケーション能力の修得 プロゼミナール	プレゼンテーションスキルの修得 演習 ビジネス英語I ビジネス英語II	専門分野における言語運用能力の修得	
	(特) 海外研修（アメリカ・ドイツ・フランス・中国・台湾・韓国）				
b 知識・理解	教養・基礎的知識の修得 学問への扉 主題科目 学問基礎科目 高度教養教育科目 広範教養教育科目 学部基礎科目 【経済系】 経済数学入門 経済史入門 【経営系】 簿記入門 原価会計論 現代企業論 経営管理論 【統計・調査系】 統計学入門 統計学 社会調査法 地域調査法 学部専門科目 【観光・地域振興領域】 観光学概論 【グローバル社会経済領域】 グローバル社会概論	専門分野の基礎知識の修得 学部基礎科目 【経済学系】 ミクロ経済学 I マクロ経済学 I ミクロ経済学 II マクロ経済学 II 【経営系】 経営戦略論 マーケティング論A	学部専門科目 【経済・政策分析】 政治経済学 I 計量経済学 I 経済政策 社会政策A 【会計・ファイナンス】 会計学総論 金融論 I リスクと保険 財政学A 【経営・イノベーション】 企業倫理 人的資源管理論A 経営組織論 流通システム論A 【観光・地域振興】 観光産業論 地域活性化論 まちづくり論 【グローバル社会経済】 アジア経済論 アメリカ経済論 ヨーロッパ経済論	学部開設科目（必修） 【経済・政策分析コース】 経済数学 政治経済学 II 計量経済学 II 財政学B 日本社会経済史 金融論 II 【会計・ファイナンスコース】 管理会計論 調査データ分析 I 財政学B 金融論 II 財務会計論 【経営・イノベーションコース】 経営学史 イノベーション論 マーケティング論B 環境システム論 商品システム論 調査データ分析 I 管理会計論 グローバル経営論 【観光・地域振興コース】 観光地理学 マーケティング論B 環境システム論 エコツーリズム論 地域研究論 地域活性化プロジェクト I 財政学B 商品システム論 【グローバル社会経済コース】 文化人類学 アジア文化論 ヨーロッパ社会論 日本社会経済史 グローバル経営論 外国語演習 I	学部開設科目（必修） 社会政策B 上級ミクロ経済学 上級マクロ経済学 経済統計 公共経済学 地域経済学 国際経済学A 国際経済学B 福祉経済論 金融政策 I 金融政策 II 株式会社会計 社会政策B 監査論 原価計算論 コスト・マネジメント論 保険システム論 金融政策 I 金融政策 II 中小企業経営論 調査データ分析 II 経営財務論 経営史 資源エネルギー論 人的資源管理論B 中小企業経営論 グローバル・マーケティング論 サービス・マーケティング論 流通システム論B 調査データ分析 II 商品実験 観光政策論 国際観光論 サービス・マーケティング論 地域活性化プロジェクト II 公共経済学 地域経済学 流通システム論B 異文化間コミュニケーション論 国際社会学 異文化間コミュニケーション論 アジア社会論 アメリカ社会文化論 ヨーロッパ文化論 国際経済学A 国際経済学B グローバル・マーケティング論 外国語演習 II
	専攻分野の総合的学力を培う		プロゼミナール	演習	個別演習
c 問題解決・課題探求能力	基礎的問題解決法を学ぶ 大学入門ゼミ 主題科目 学部基礎科目【統計・調査系】 統計学入門 統計学 社会調査法 地域調査法	専門分野の理解を深める 計量経済学 I	演習を通して、探求能力を養う プロゼミナール 計量経済学 II 調査データ分析 I	具体的課題に取り組み、総合的学力を高める 演習 経済統計 調査データ分析 II	
	市民としての責任ある行動を理解する		社会において自己が果たすべき役割や社会的責任を自覚する		
d 社会的責任・倫理観	ライフデザイン 大学入門ゼミ 健康・スポーツ	企業倫理	現代経済社会事情 環境システム論	インターンシップ 株式会社会計 監査論	
	地域社会の現状と課題に関心を持つ ライフデザイン 学部専門科目 【観光・地域振興】および【グローバル社会経済】領域の科目 【特別主題（地域）】	地域の課題を探求する・国際的な視野を身に付ける コース専門科目 【観光・地域振興コース】および【グローバル社会経済コース】科目 現代経済社会事情 地域活性化プロジェクト I・II 地域活性化プロジェクト III (特) 海外研修（アメリカ・ドイツ・フランス・中国・台湾・韓国）			
e 地域理解					

  全学共通科目
   学部開設科目
   学部開設科目（必修）

ディプロマ・ポリシーの各項目の達成は、以下に示す体系的教育をもって実現します。

① 言語運用能力

全学共通科目の外国語科目により基礎となる語学力向上を図ります。また、学部開設科目の「外国語演習Ⅰ・Ⅱ」、「ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ」などの授業や海外研修プログラムを通して、より専門的な外国語運用能力や国際感覚を獲得します。日本語運用能力は、「プロゼミナール」や「演習」、「個別演習」の中で段階的に身につけます。

② 知識・理解（21世紀型市民及び学士（経済学）として）

基礎となる幅広い視野と知識獲得のため、全学共通科目（学問基礎科目、主題科目等）を学び、経済学及び経営学的な視野・視点を涵養するため、1、2年次に学部基礎科目を学びます。また、各コースの導入的位置づけにある学部専門科目を履修した上で、より専門的・応用的な知識・能力を習得するため、コース専門科目及び「演習」を履修します。複眼的な思考を養えるよう、学部専門科目では5領域の科目の履修も義務付けています。講義形式による知識の獲得と演習形式による具体的課題に対する探求力の修得を組み合わせることで、より総合的な知識の獲得と実践的な知識の理解を達成します。

③ 問題解決・課題探求能力

全学共通科目の主題科目や大学入門ゼミにおいて問題発見・解決の方法を学び、学部専門教育を受けて専門知識とデータ分析能力を修得します。2年次後期は「プロゼミナール」、3年次は「演習」、4年次は「個別演習」を履修し、研究室単位でのアクティブラーニング型の少人数教育のもと、応用的な専門知識を身につけつつ、研究に取り組みます。自ら抽出した課題に対する分析・考察を行い、「卒業論文」を執筆することで、問題解決・課題探求能力を身につけます。

④ 倫理観・社会的責任

全学共通科目のライフデザインにおいて21世紀型市民としていかに生きるかを学び、2年次後期の「現代経済社会事情」や3年次の「インターンシップ」、専門科目を受講することで、社会において自己が果たすべき役割や、市民としての責任ある行動を身につけます。一連の科目は、高い倫理性、社会的責任の自覚、社会における問題解決・課題探求能力を発揮する基礎となります。

⑤ 地域理解

全学共通科目の特別主題（地域）やライフデザインで地域理解への動機づけがなされ、学部開設科目の学部専門科目（観光・地域振興領域及びグローバル社会経済領域）を履修した上で、海外研修プログラムや地域的な課題をテーマとする講義に参加することで、国際的な視野を身につけるとともに、地域社会の現状と課題に関心を持ち、自己と関連づけて問題を発見します。これら地域理解科目では、講義の目的に応じて講義、グループワーク、フィールドワーク、PBL(Project Based Learning) など様々な教授方法が取り入れられ、より実践的に地域の課題を理解します。